

大阪市立大学

森 一彦・小伊藤 亜希子・小池 志保子・生田 英輔・木村 吉成・白須 寛規・  
春木 敏・千須和 直美 ほか



地域の「空き」を共有し、コミュニティサービスを展開する

空き家共有の展開図（地域断面図）



CONCEPT

「泉北ほっとけないネットワーク・新近隣住区論」プロジェクトとは、十分に活用されていない空き家・空き店舗を地域の「空き」としてとらえ、その「空き」を地域で共有し、そこを拠点に支え合うための様々なコミュニティサービスを展開するモデル事業である。本事業は国・府・市のモデル事業指定を契機とした、地元自治会・事業者、国・府・市、大学等の民産官学の密接な連携の取り組みであり、地域全体を巻き込んだまちづくり活動として今後のニュータウン再生のモデルといえる。

BACK GROUND

泉北ニュータウンは、45年前、高度経済成長期に開発され、現在、少子高齢化・人口減少、住宅施設・インフラの老朽化等、様々な課題を抱えている。都市圏と郊外とのエッジ（境界）に位置する立地特性を踏まえて、子どもから高齢者まで多世代が豊かな自然や農園の中で健康に暮らす「泉北スタイル」の実現を独自の目標にかかっている。加えて地域の「ほっとけない」精神の下で生まれたボランティア組織が多く（100以上）活動していることも特徴で、これらの地域特性を生かした具体的な再生の仕組みが求められている。

CONTENT

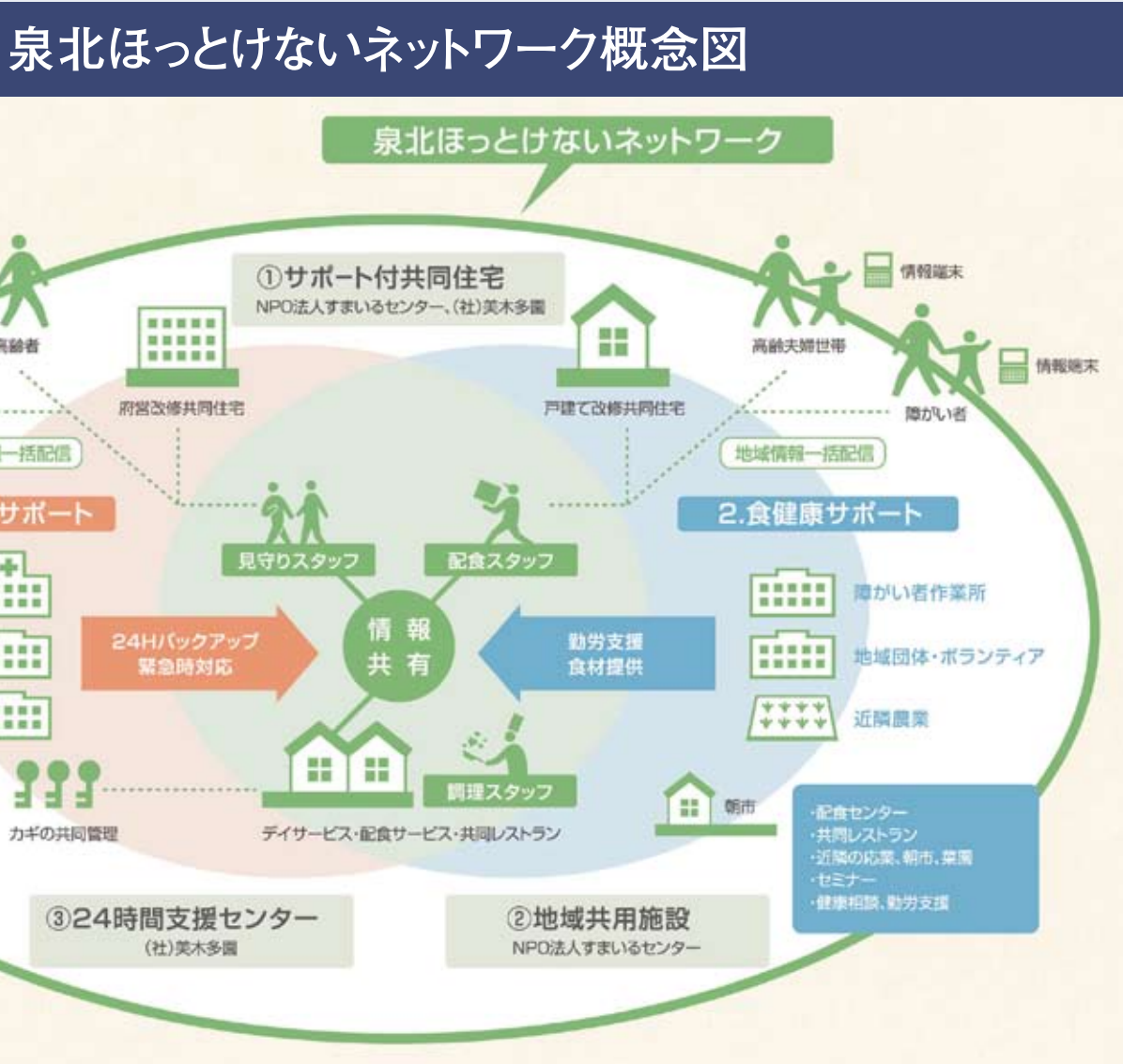
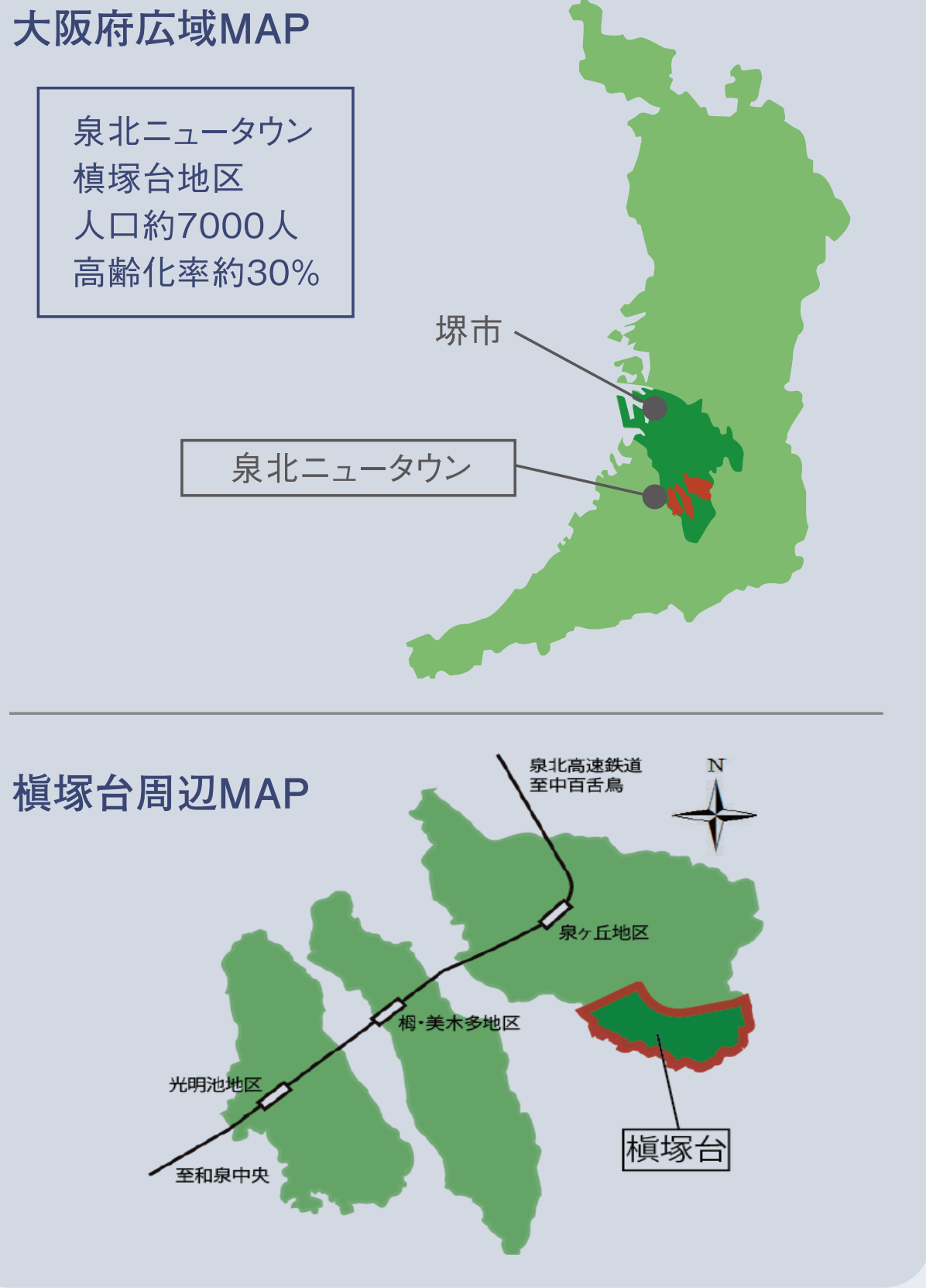
2010年9月に榎塚台地区（人口約7000人、高齢化率約30%）において、住民・NPO・大学・行政が相互連携する組織「泉北ほっとけないネットワーク推進協議会」を組織し、空き住戸と空き店舗を福祉サービス拠点に転用し、高齢者・障害者・子どもを含む地域住民生活を包括的支援するための安心居住・食健康のコミュニティサービスを提供している。

|                                      |                                                                                             |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 拠点整備                                 | コミュニティサービス展開                                                                                |
| ①榎塚台レストラン（空き店舗転用）：230㎡               | 見守りかねた配食サービス／昼食、居酒屋の提供（地域レストラン）／各種サークル支援（地域レストラン2階、生活支援住宅）／食健康相談、健康リハビリ支援／ショートステイ（生活支援住宅）など |
| ②まちかどステーション（空き店舗転用）：58㎡              |                                                                                             |
| ③生活支援住宅（府営住宅転用）：7住戸・300㎡             |                                                                                             |
| ④シェアハウス「緑道下の家」（戸建て空き家転用）：1住戸4個室・134㎡ |                                                                                             |
| ⑤デイサービス「はるか広場」（戸建て住宅転用）              |                                                                                             |
| ⑥グループホーム「みんなのわが家 はるか」（空き地活用）         |                                                                                             |

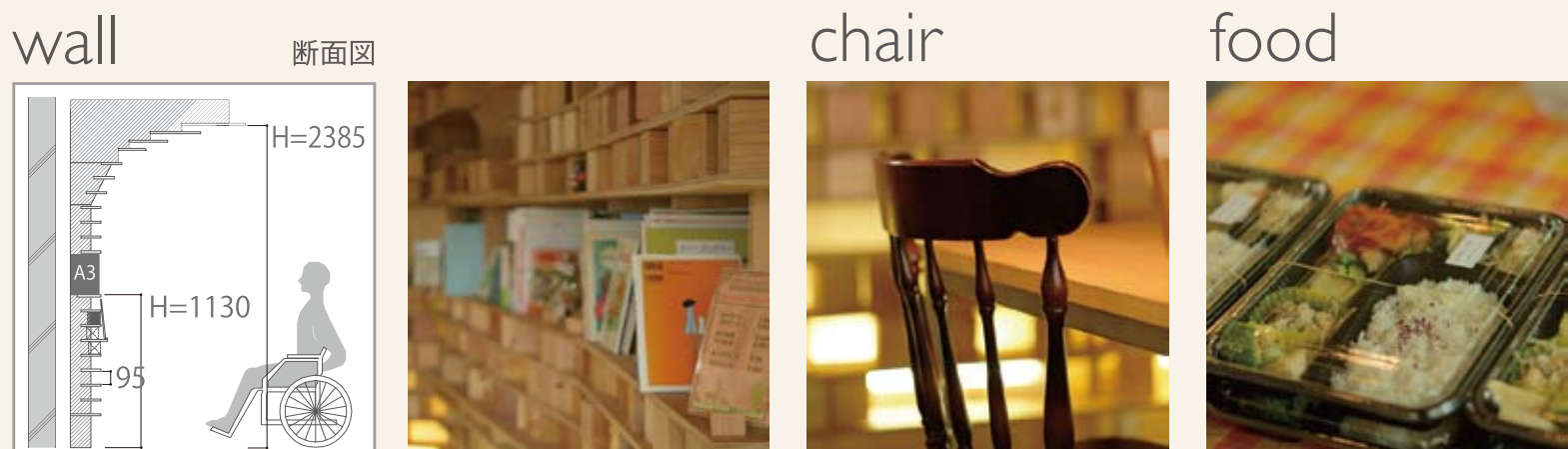
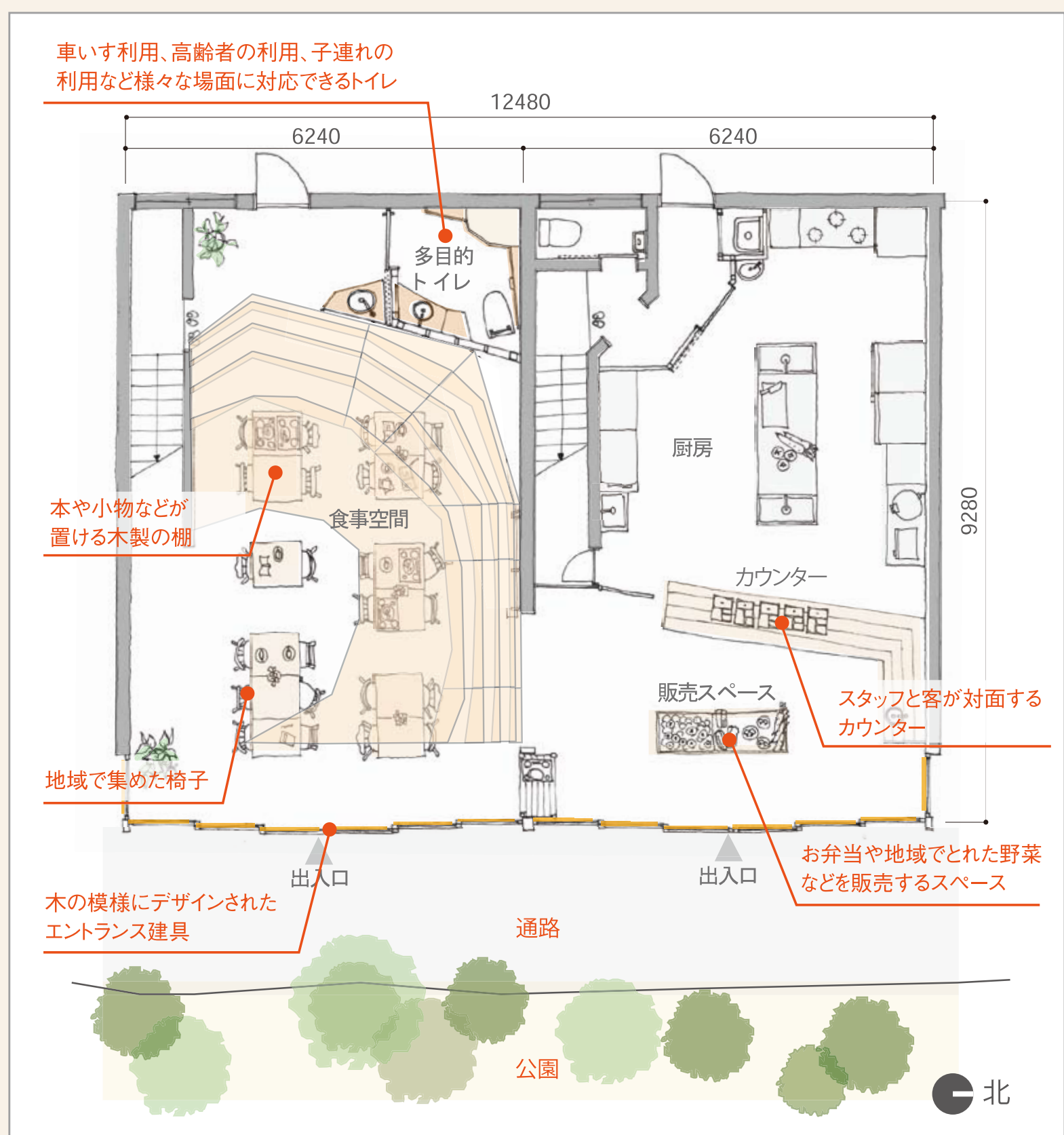
泉北ほっとけないネットワーク推進協議会（主なメンバー）

- 大阪市立大学グループ（森一彦、小伊藤亜希子、小池志保子、生田英輔、木村吉成、白須寛規、春木敏、千須和直美ほか）
- 榎塚台校区自治連合会（西野健造ほか）● NPO榎塚台助け合いネットワーク（西野健造ほか）● NPOすまいるセンター（西上礼雄、西尾正敏ほか）● 株式会社 愛のケア工房はるか（岩井美智子）
- NPO法人 ASUの会（柴田美治）● 大阪府立大学グループ（樋口由美、小相進ほか）● 大阪物療大学グループ（高井逸史）

国土交通省高齢者等居住安定化推進事業、堺市地域共生ステーション推進モデル事業、大阪府新しい公共の場づくりのためのモデル事業などのモデル事業指定を受けている。



① 榎塚台レストラン

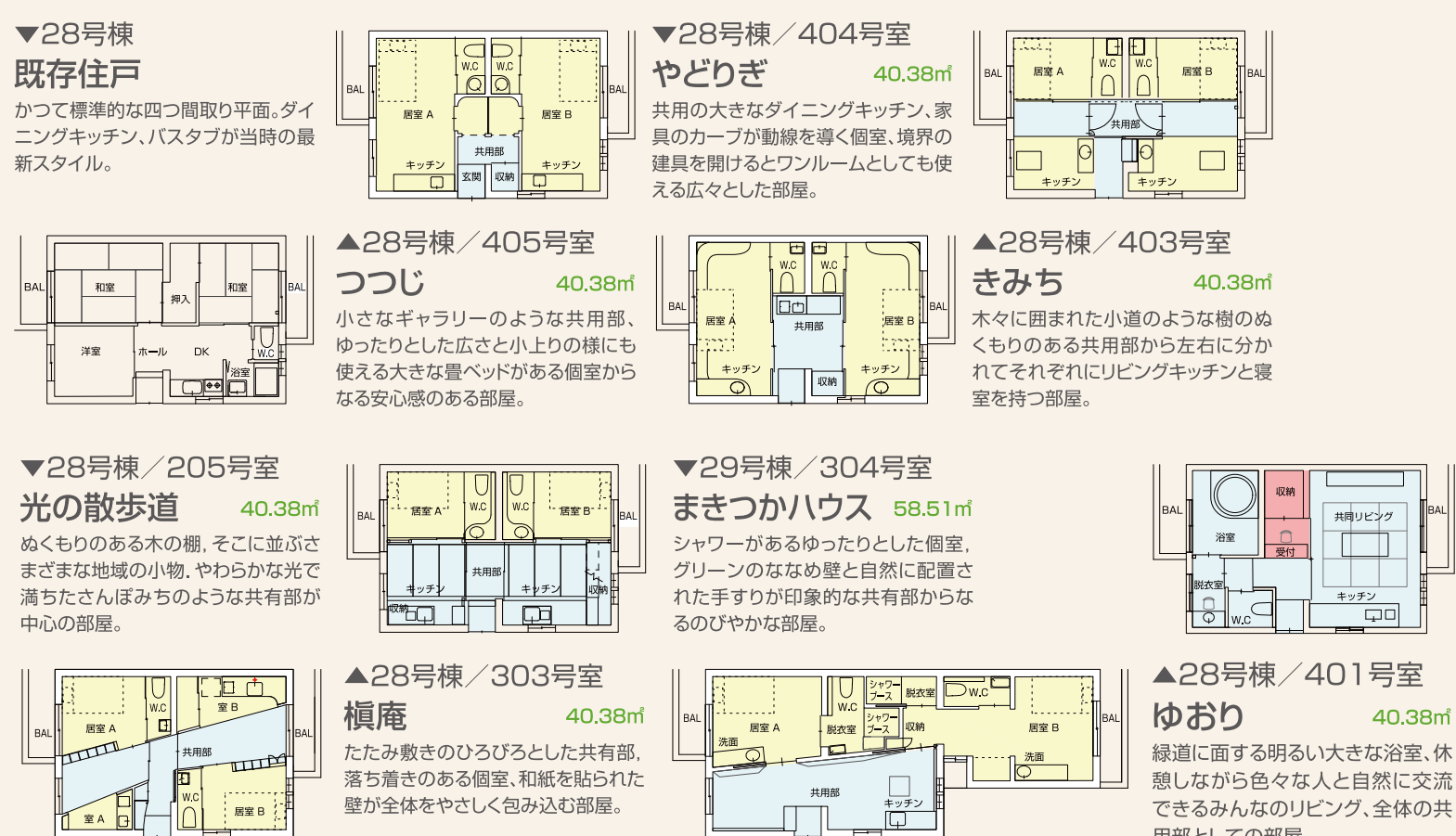
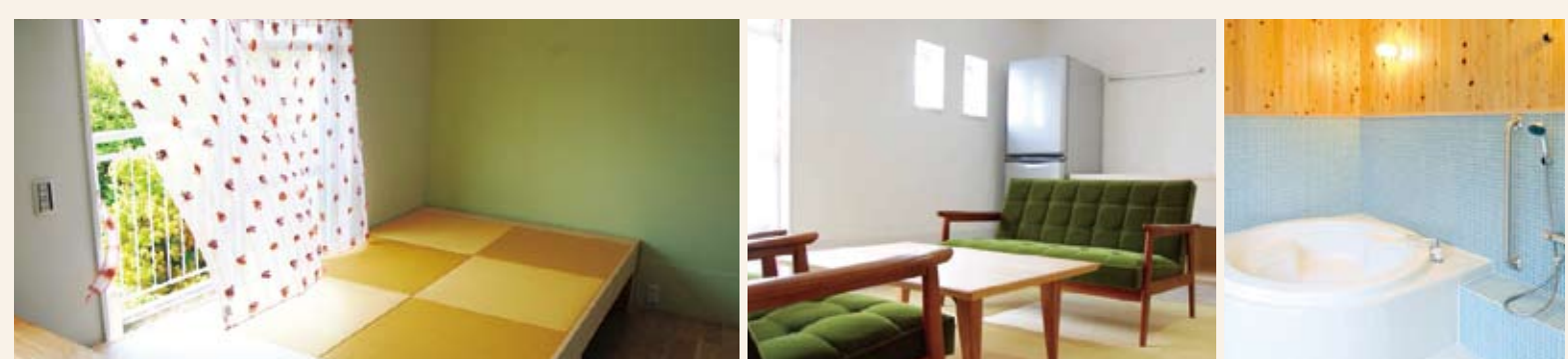


木のブロックを積んだ木の壁は、空間を覆うように天井までつながっている。1130の高さに本や小物を飾るスペースを設け、木の変化を楽しみながら地域住民の手ににより作りかえられるインテリアとした。



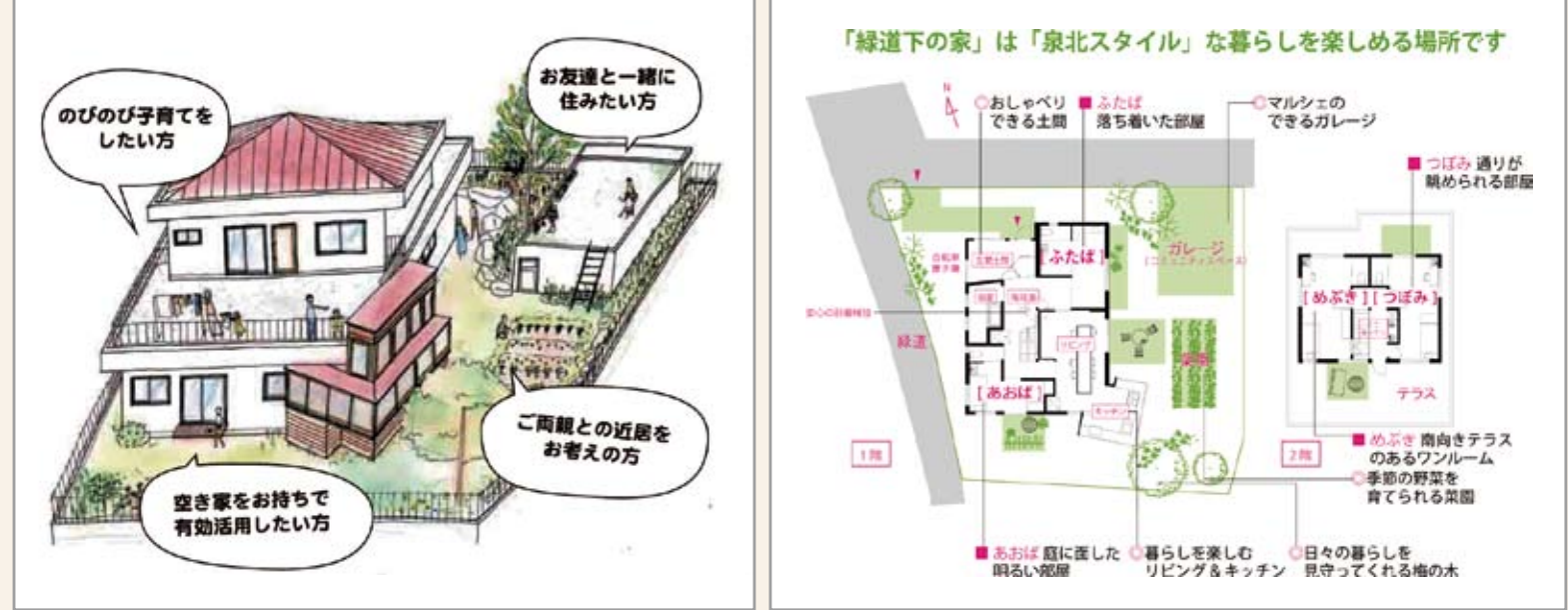
朝市で野菜を販売。 厨房と販売スペースをつなぐ対面式のカウンターは、スタッフの作業の場や客の食事の場として利用できる。

③ 生活支援住宅



④ シェアハウス「緑道下の家」

戸建て空き家を転用した「緑道下の家」。料理教室や雑仕事などの暮らしを楽しめる多世代型シェアハウスとして改修・耐震補強した。



⑤ デイサービス「はるか広場」



⑥ グループホーム「みんなのわが家 はるか」

